

セミナー名

核酸増幅法検査の 将来的応用

座長

中村 明子 先生

三重大学医学部附属病院 中央検査部

演者

御手洗 聡 先生

公益財団法人結核予防会結核研究所 抗酸菌部

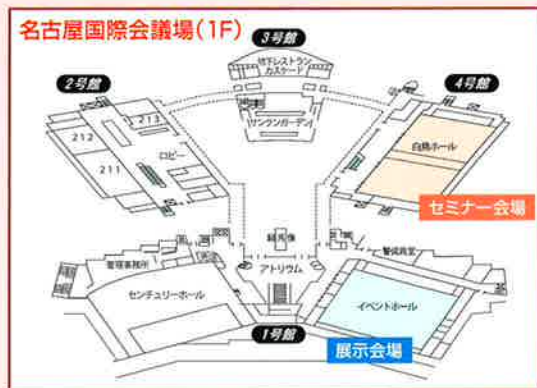
日時

2014年
2月2日(日) 12:00~13:00

会場

第2会場

名古屋国際会議場 4号館1階 白鳥ホール(北)



本ランチョンセミナーは整理券制です。
 配布場所：ランチョンセミナー整理券配布コーナー
 (1号館1階 アトリウム)
 配布日時：2014年2月2日(日)
 8:00~11:50(なくなり次第終了)
 【注意事項】整理券はセミナー開始後に無効となります。



本学会付設展示会にて弊社製品を展示しております。是非お立ち寄りください。

共催：第25回 日本臨床微生物学会総会 / 東ソー株式会社

セミナー名 **核酸増幅法検査の将来的応用**

座長 **中村 明子** 先生(三重大学医学部附属病院 中央検査部)

演者 **御手洗 聡** 先生(公益財団法人結核予防会結核研究所 抗酸菌部)

要旨 核酸増幅法は言うまでもなく人為的にDNAやRNAを増幅する技術であり、生物学的な分野では培養困難な菌種の検出や同定に一般に利用されている。具体的には、通常であれば培養に数週間を要する結核菌の検出や、抗酸菌種の遺伝子同定などである。実際に現在市販されている抗酸菌検査体外診断試薬のほとんどはこれらの目的を満たすようにデザインされている。核酸増幅法の導入により、微生物検査は感度あるいは迅速性の点で大幅に改善されている。

近年では、これらの古典的利用法に加えて、遺伝子タイピングや変異検出などに核酸増幅を基礎とする方法が用いられており、応用範囲が広がっている。またマルチプレックスPCRによる複数遺伝子の同時検出やリアルタイムPCRによる定量的検出など、得られる情報量も増加・多様化している。さらに今後は核酸増幅による微生物の生死判定や、病原性との関連を示す遺伝子型の検出など、遺伝子では判断が困難であった情報も得られるようになるものと思われる。今回のセミナーでは抗酸菌検査を中心に、核酸増幅法の過去・現在・未来についての考察を試みる。

**第25回 日本臨床微生物学会総会
企業展示会のご案内**

会期 2014年 2月1日(土) 9:00~18:40
2月2日(日) 9:00~12:00

会場 名古屋国際会議場 イベントホール【東ソープース No.8】

出展予定品 遺伝子検査システム



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

本社/〒105-8623 東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル
TEL 03-5427-5181 FAX 03-5427-5220

大阪支店 ☎ (06) 6209-1948 名古屋支店 ☎ (052) 211-5730
福岡支店 ☎ (092) 781-0481 仙台支店 ☎ (022) 266-2341
山口営業所 ☎ (0834) 63-9888
<http://www.tosoh.co.jp/science/>